



2023年4月6日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2023年春闘 No.14

2022年度推進ニュース③通算 293号

発行責任者 小島 茂

統一地方選挙(知事・県議・政令市議選)と春闘を一体で推進し生活改善を勝ち取ろう

統一地方選挙前半戦(県知事・県議会・横浜・川崎・相模原市議会選挙)は4月9日の投開票日まで残り3日間の最終盤に突入して熾烈なたたかいは展開されています。

「平和で明るい神奈川県政をつくる会」から県知事選挙に立候補している岸牧子候補は、気候危機打開の対策として再生可能エネルギー100%はじめ子育て支援、医療・社会保障の抜本拡充、大軍拡・大増税NO!など県民の切実な要求を公約にかかげて奮闘しています。

建交労神奈川県本部は岸牧子候補の支持を委員会で決定し「組合員一人が岸牧子候補への支持を10人に広げる対話をしよう」と呼びかけています。

神奈川県南支部は県本部の呼びかけに応じて「支部組合員一人が家族や知人・友人など10人に岸牧子候補への支持拡大を呼びかける運動を展開する」ことを第5回執行委員会で確認しています。併せて、県議会・政令市議会選挙でも賃上げをはじめとする生活改善、大軍拡・大増税NO、医療・社会保障の拡充など、労働者の要求実現をめざし全組合員が必ず参政権を行使(投票行動に参加)することを呼びかけます。

一方、今年の春闘は物価上昇分には届かないものの多くの大手企業が前年実績を上回る満額の賃上げ回答を提示して妥結しています。しかし、労働者全体の約7割がはたらく中小企業での春闘はこれからが正念場となります。神奈川県南支部でも現時点での有額回答は下表のとおり9職場中(エネックス分会を除く)3職場です(いずれも前年実績突破)。

こうした状況でたたかわれている統一地方選挙は、賃上げや生活改善に本気でとりくんでいる候補者や政党が勝利すれば春闘後半のたたかいは大きく後押しすることになります。支部の全組織は統一地方選挙と春闘を一体で推進し賃上げ・生活改善を勝ち取りましょう。

神奈川県南支部2023年春闘回答状況

分会・班名	要求提出	要求額	回答額	前年実績	前年比	回答日	次回交渉日	備考
イワサワ	2月15日	44,000	5,000	2,500	2,500	3月15日	妥結	
東進産業	2月15日	44,000		860			4月5日	
日酸運輸	2月15日	44,000	7,500	3,000	4,500	3月16日		
エネックス	業務移管によって扶桑運輸分会からエネックス分会に組織変更							4月1日結成
内外液輸	3月20日	45,000		0				
中日臨海バス	2月15日	44,000		4,500				
三昭運輸	2月15日	44,000		0				
弥生京極社	2月15日	15,000	2,000	1,300	700		妥結	
ギオン	2月15日	44,000		0				
ISB	2月15日	44,000		-	-			22年9月結成